

Rails 5.1でVue.js触ってみた

yamotonalds

2017-03-13

Rails 5.1でVue.js触ってみた

もくじ

- Vue.jsって何？
- Rails 5.1でVue.jsを使えるようにする
- Ajaxで取ってきたデータを表示してみる
- loader（？）を変えてみる

Vue.jsって何？



- jsフレームワーク（View周り）
- Reactっぽい感じ？
- 双方向bindingとかVirtual DOMとか
- コンポーネント指向
- 速いらしい

公式サイトが日本語



[ガイド](#) [API](#) [例](#) [貢献](#) [エコシステム](#) [言語](#)

Sponsored By



[Become a Backer](#)

ガイド 2.0

基本的な使い方

インストール

はじめに

Vue.js とは？

はじめに

宣言的レンダリング

条件分岐とループ

ユーザー入力の制御

コンポーネントによる構成

カスタム要素との関係

準備ができましたか？

Vue インスタンス

テンプレート 構文

算出プロパティとウォッチャ

クラスとスタイルのバインディング

条件付きレンダリング

リストレンダリング

イベントハンドリング

フォーム入力バインディング

コンポーネント

高度な使い方

リアクティブの探求

トランジション効果

はじめに

Vue.js とは？

Vue (発音は /vju:/、**view** と同様) はユーザーインターフェイスを構築するための **プログレッシブフレームワーク** です。他の一枚板 (モノリシック: monolithic) なフレームワークとは異なり、Vue は初めから少しずつ適用していけるように設計されています。中核となるライブラリは **view** 層だけに焦点を当てているため、Vue.js を使い始めたり、他のライブラリや既存のプロジェクトに統合したりすることはとても簡単です。一方、**モダンなツール** や **サポートライブラリ** と併せて利用することで、洗練されたシングルページアプリケーションを開発することも可能です。

あなたが経験豊富なフロントエンド開発者で、Vue.js と他のライブラリ/フレームワークを比較したい場合、**他のフレームワークとの比較** を確認してください。

はじめに

公式ガイドは、HTML、CSS そして JavaScript の中レベルのフロントエンドの知識を前提にしています。フロントエンドの開発が初めてであるならば、最初のステップとして、フレームワークに直接入門するのは良いアイデアではないかもしれませんが、基礎を学んで戻ってきましょう！他のフレームワークでの以前の経験は役に立ちますが、必須ではありません。

Vue.js を試すには、**JSFiddle Hello World example** が最も簡単です。自由に他のタブを開いて、基本的な例を試してみましょう。もしくは、単純に **.html** を作成し、以下のように Vue を含むことができます:

```
<script src="https://unpkg.com/vue"></script>
```

HTML



All the tools your team needs in one place. Slack. Where work happens.

ads via Carbon

Sponsored By

THE
DIFFERENCE
ENGINE

Become a Backer

API 2.0

グローバル設定

[silent](#)
[optionMergeStrategies](#)
[devtools](#)
[errorHandler](#)
[ignoredElements](#)
[keyCodes](#)

performance

[productionTip](#)

グローバル API

[Vue.extend](#)
[Vue.nextTick](#)
[Vue.set](#)
[Vue.delete](#)
[Vue.directive](#)
[Vue.filter](#)
[Vue.component](#)
[Vue.use](#)
[Vue.mixin](#)
[Vue.compile](#)
[Vue.version](#)

オプション / データ

[data](#)
[props](#)
[propsData](#)
[computed](#)
[methods](#)
[watch](#)

グローバル設定

`Vue.config` は Vue のグローバル設定を含んでいるオブジェクトです。あなたのアプリケーションが読み込まれる前に、下記のプロパティを変更することができます:

silent

- 型: `boolean`
- デフォルト: `false`
- 使用方法:

```
Vue.config.silent = true
```

すべての Vue のログと警告を抑制します。

- [Source](#)

optionMergeStrategies

- 型: `{ [key: string]: Function }`
- デフォルト: `{}`
- 使用方法:

```
Vue.config.optionMergeStrategies._my_option = function (parent, child, vm) {  
  return child + 1  
}  
  
const Profile = Vue.extend({
```



All the tools your team
needs in one place.
Slack: Where work
happens.

ads via Carbon

Rails 5.1でVue.jsを使えるように する

Install

Qiita

キーワードを入力

News

ストックの他に「いいね」が追加されました

投稿する

ストック一覧

0

【動画付き】 Rails 5.1で作るVue.jsアプリケーション
～Herokuデプロイからシステムテストまで～

117
いいね

0
コメント

いいね

8410 13026 310 12983

jnchito 2017年02月28日に更新 8

ストック

はじめに

Rails 5.1ではJavaScript周りのサポートが大きく改善されました。
これにより、Vue.jsやReactといったモダンなJSフレームワークをRails内で非常に扱いやすくなっています。

僕も実際に試してみましたが、本当にびっくりするぐらい簡単にVue.jsやReactを動かすことができました。
そこでこの記事ではRails 5.1とVue.jsを組み合わせたサンプルアプリケーションの作成方法をチュートリアル形式で、
できるだけ詳しく説明します。

また、ローカルで動かしておしまい、ではなく、Herokuにデプロイしたり、テストコードを書いたりするところまで
カバーします。

この記事自体は長いですが、実際に手を動かすと（スムーズに進んだ場合）30分以内で終わらせることができるはず
です！

今回作成するサンプルアプリケーション

Tweet

72

G+

1

Like

14

Pocket

83

jnchito
28177 Contribution
フォロー

人気の投稿

- モデルやメソッドに名前を付けるときは英語の品詞に気をつけよう
- 脱初心者を目指すなら知っておきたい便利なVimコマンド25選 (Vimmerレベル診断付き)
- [初心者向け] RubyやRailsでリファクタリングに使えるようなイディオムとか便利メソッドとか
- 使えるRSpec入門・その1「RSpecの基本的な構文や便利な機能を理解する」
- 脱初心者を目指すVimmerにオススメしたいVimプラグインや.vimrcの設定

Organization

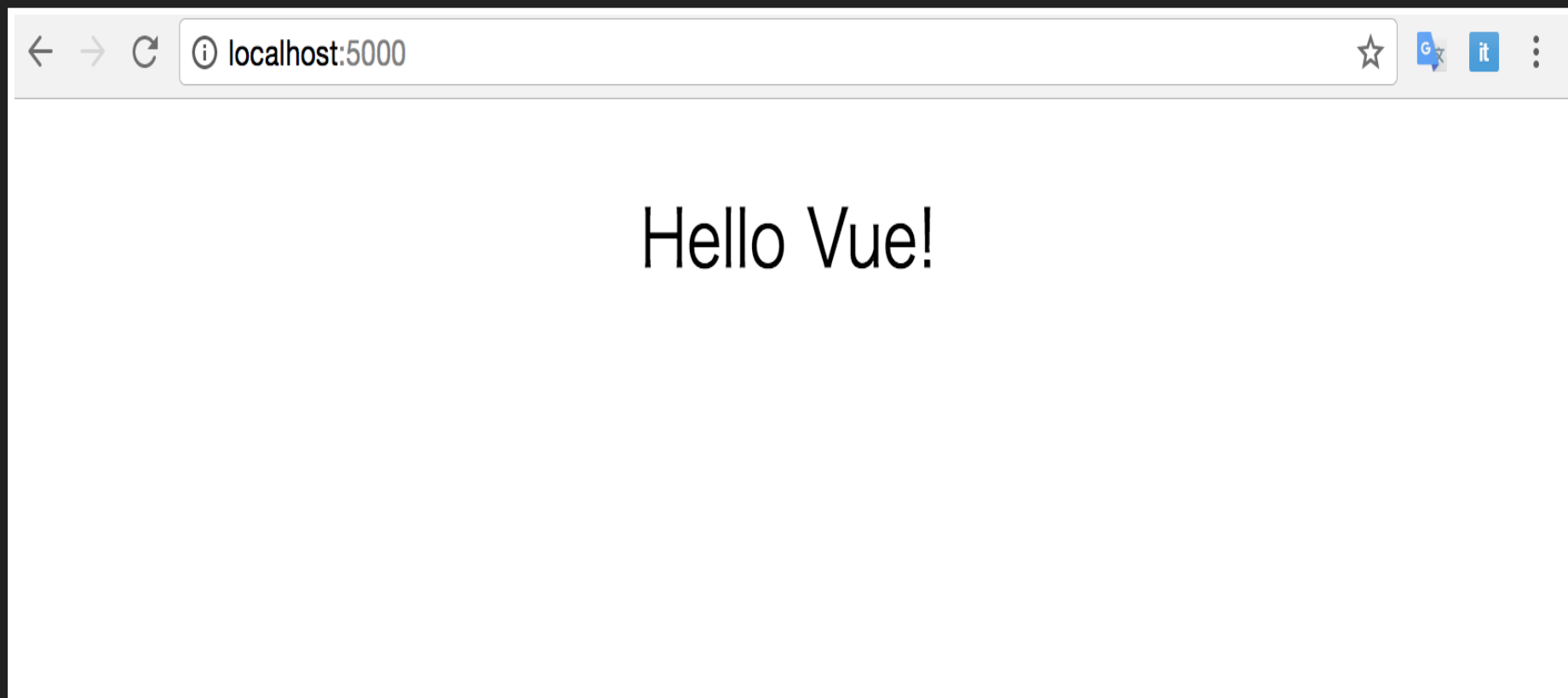
<http://qiita.com/jnchito/items/30ab14ebf29b945559f6>

```
rails new --webpack=vue application_name  
brew install yarn  
rails webpacker:install  
rails webpacker:install:vue  
webpack
```

かんたん！

webpack 実行時のエラーも無かった。

(空コントローラーを作って生成されたhello_vue
を表示するようにすると)

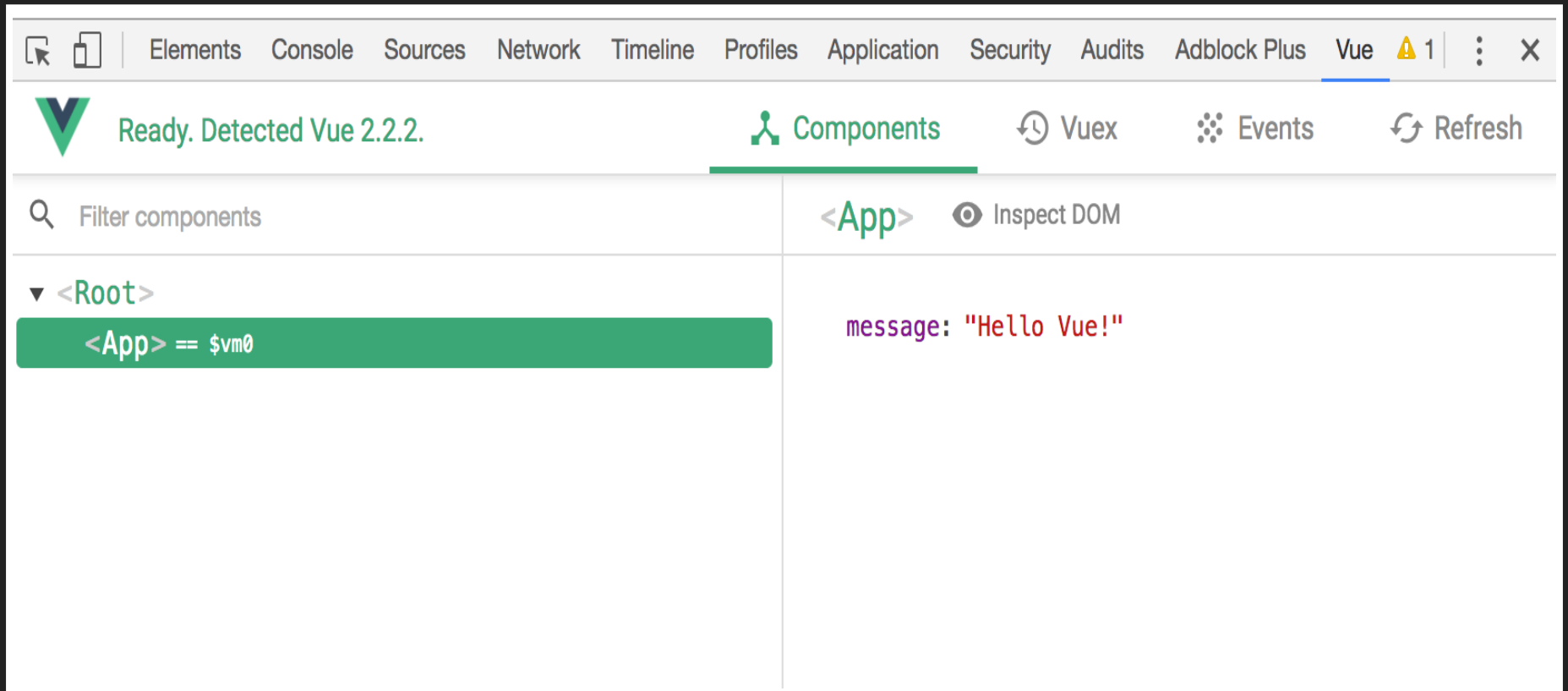


ソースコード

```
1 <template>
2   <div id="app">
3     <p>{{ message }}</p>
4   </div>
5 </template>
6
7 <script>
8 module.exports = {
9   data: function () {
10    return {
11      message: "Hello Vue!"
12    }
13  }
14 }
15 </script>
16
17 <style scoped>
18 p {
19   font-size: 2em;
20   text-align: center;
21 }
22 </style>
23
```

app.vue

開発サポート用のChrome拡張もあります



**Ajaxで取ってきたデータを表示し
てみる**

Vue.jsは特に通信の仕組みを持ってない

少し前までは vue-resource というAjaxライブラリがあった。

先日引退した

vue-resource の引退について

Nov 3, 2016

このブログは[こちら](#)の翻訳ブログです。

Vue のユーザーとして、皆さんの多くが使用している可能性がある *vue-resource* は Vue アプリケーションでの ajax リクエストを処理するためのものです。

長い間それは Vue 用の「公式」ajax ライブラリとして考えられてきましたが、本日私たちはそれを公式推奨という状態から引退させました。

Railsで言うところのgemに切り出された状態。

まだ使える。

ただ、公式推奨は axios というライブラリになった。

axiosを使ってみる

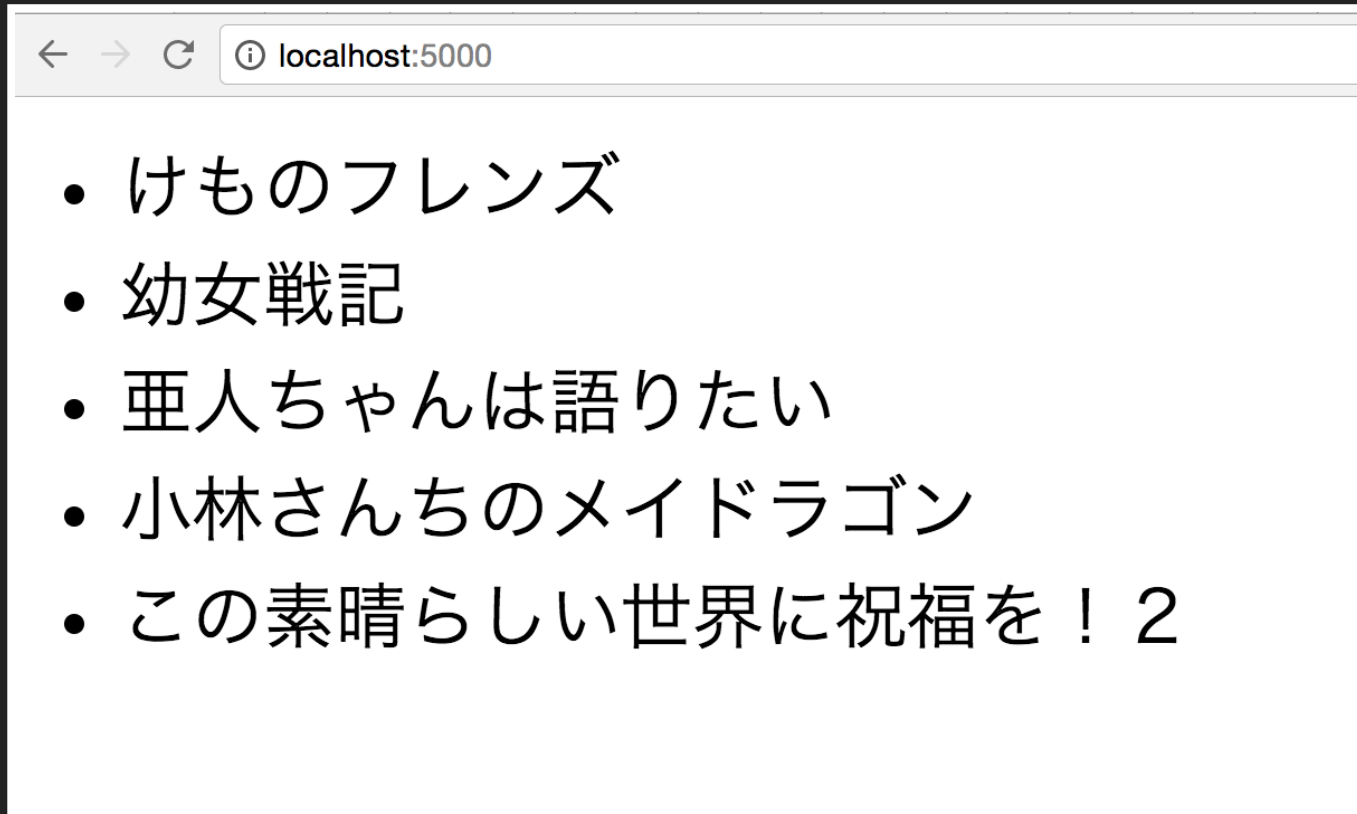
```
1  <template>
2    <div id="app">
3      <ul>
4        <li v-for="anime in animes">{{ anime }}</li>
5      </ul>
6    </div>
7  </template>
8
9  <script>
10   const axios = require('axios')
11
12   module.exports = {
13     data: function () {
14       return {
15         animes: []
16       }
17     },
18
19     mounted() {
20       axios.get('/animes').then(res => this.animes = res.data)
21     }
22   }
23 </script>
24
25 <style scoped>
26   li {
27     font-size: 2em;
28   }
29 </style>
30
```

app.vue

適当にコントローラーを用意する

```
1  class AnimesController < ApplicationController
2    def index
3      render json: [
4        'けものフレンズ',
5        '幼女戦記',
6        '亜人ちゃんは語りたい',
7        '小林さんちのメイドラゴン',
8        'この素晴らしい世界に祝福を！ 2',
9      ]
10   end
11 end
12
```

できた



loader（？）を変えてみる

もう一度ソースコードをご覧ください

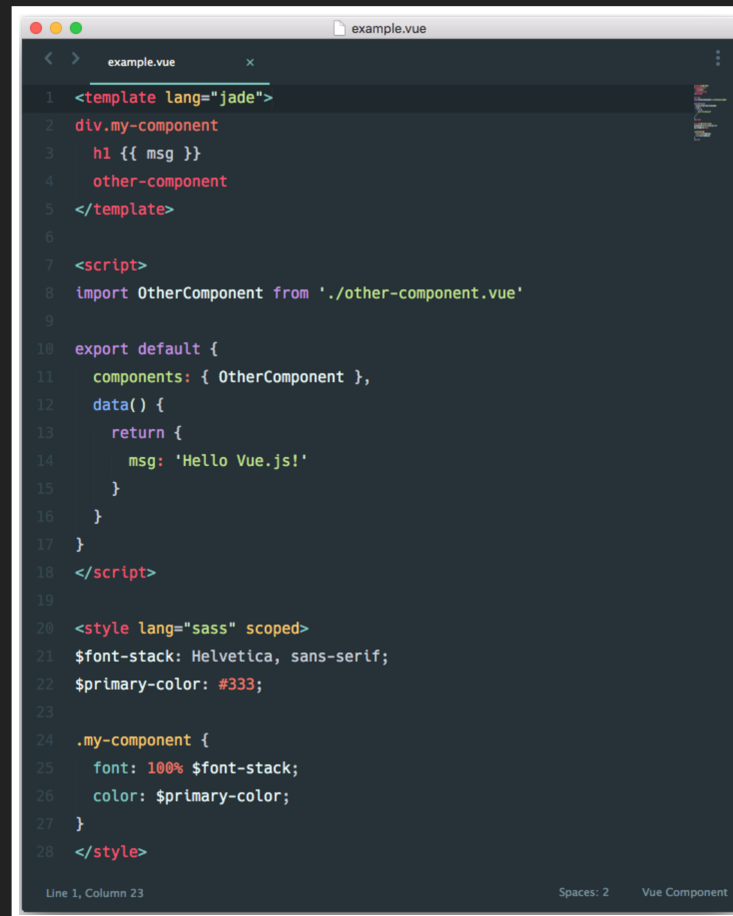
```
1  <template>
2    <div id="app">
3      <ul>
4        <li v-for="anime in anims">{{ anime }}</li>
5      </ul>
6    </div>
7  </template>
8
9  <script>
10   const axios = require('axios')
11
12   module.exports = {
13     data: function () {
14       return {
15         anims: []
16       }
17     },
18
19     mounted() {
20       axios.get('/animes').then(res => this.anims = res.data)
21     }
22   }
23 </script>
24
25 <style scoped>
26   li {
27     font-size: 2em;
28   }
29 </style>
30
```

app.vue

思った

ES 2015とか使えるjsは良いとして
HTMLとかCSSとか素で書くのつらくない？

探した



```
1 <template lang="jade">
2   div.my-component
3     h1 {{ msg }}
4     other-component
5 </template>
6
7 <script>
8   import OtherComponent from './other-component.vue'
9
10  export default {
11    components: { OtherComponent },
12    data() {
13      return {
14        msg: 'Hello Vue.js!'
15      }
16    }
17  }
18 </script>
19
20 <style lang="sass" scoped>
21   $font-stack: Helvetica, sans-serif;
22   $primary-color: #333;
23
24   .my-component {
25     font: 100% $font-stack;
26     color: $primary-color;
27   }
28 </style>
```

Line 1, Column 23 Spaces: 2 Vue Component

vue-loaderのreadme

config/webpack/shared.js を見たらSCSSは既に
使えそうだったので jade を探した。

犬になってた

★ pug public

Pug

Full documentation is at pugjs.org

Pug is a high performance template engine heavily influenced by [Haml](#) and implemented with JavaScript for [Node.js](#) and browsers. For bug reports, feature requests and questions, [open an issue](#). For discussion join the [chat room](#).



You can test drive Pug online [here](#).

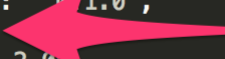
build **passing** coverage **93%** dependencies **none** devDependencies **out-of-date** npm **v2.0.0-beta11**
gitter **join chat →**

Rename from "Jade"

This project was formerly known as "Jade." However, it has been revealed to us that "Jade" is a

package.jsonに を追加

```
1  {
2    "name": "rails_webpack_vue",
3    "private": true,
4    "dependencies": {
5      "axios": "^0.15.3",
6      "css-loader": "^0.27.1",
7      "node-sass": "^4.5.0",
8      "sass-loader": "^6.0.3",
9      "url-loader": "^0.5.8",
10     "vue": "^2.2.2",
11     "vue-loader": "^11.1.4",
12     "vue-template-compiler": "^2.2.2"
13   },
14   "devDependencies": {
15     "babel-core": "^6.23.1",
16     "babel-loader": "^6.4.0",
17     "babel-preset-latest": "^6.22.0",
18     "coffee-loader": "^0.7.3",
19     "coffee-script": "^1.12.4",
20     "compression-webpack-plugin": "^0.3.2",
21     "glob": "^7.1.1",
22     "path-complete-extname": "^0.1.0",
23     "pug": "2.0.0-beta11",
24     "rails-erb-loader": "^3.2.0",
25     "webpack": "^2.2.1",
26     "webpack-dev-server": "^2.4.1",
27     "webpack-merge": "^4.0.0"
28   }
29 }
30
```



すっきりした

```
1 <template lang="pug">
2   #app
3     ul
4       li(v-for="anime in animes") {{ anime }}
5 </template>
6
7 <script>
8   const axios = require('axios')
9
10  module.exports = {
11    data: function () {
12      return {
13        animes: []
14      }
15    },
16
17    mounted() {
18      axios.get('/animes').then(res => this.animes = res.data)
19    }
20  }
21 </script>
22
23 <style lang="scss" scoped>
24   ul {
25     li {
26       font-size: 2em;
27     }
28   }
29 </style>
30
```

app.vue

感想

Railsでのinstallについて

- RailsでVue.js使い始めるまでが楽
 - 楽すぎて全然理解してない
 - SPAにするならRailsをAPIモードにして切り離しちゃって良いのでは？

Vue.jsについて

- 書くこと少なくて楽
 - 複雑なアプリケーションになったら？
- 公式サイト日本語なのは助かる
- コンポーネント指向はやりやすそう
- .vue ファイルは賛否両論ありそう